

# 議題「4年1組の係を決めよう！」(第4学年)

## 〔事前の活動〕

### 1 問題の発見

C1:「先生、3年生の時に係の活動がとても楽しかったので、4年生でも係を決めたいです。」

C2:「私も、係を早く決めたいな。」

教師:「教えてくれてありがとう。ぜひ議題ポストに提案してもらいたいな。」

### 2 議題の選定(計画委員会の活動)

C3:「係を決めたいという意見が議題ポストに入っていました。」

C4:「そうだね。帰りの会で、クラスみんなに確認をしてみよう。」

### 3 計画の作成(計画委員会の活動)

教師:「提案してくれたC1さんの思いや、何のために話し合うのかがわかるように、提案理由を見直してみましょう。」

C5:「いろいろ出し合ってみると、話し合うことは、①どんな係があるとよいか考えよう、②係の分担を決めよう、の2つになりそうだね。」

教師:「計画委員会で、司会2人、黒板記録2人、ノート記録1人を分担しましょう。」

### 4 問題の意識化(計画委員会・全員の活動)

C6:「学級会ノートに、自分の考え(あるといいと思う係)を書いてきてください。」



児童のつぶやきを議題の提案へつながるよう助言する。

#### 提案理由に盛り込む内容(例)

- ・学級の実態  
→学級の課題、問題など
- ・話し合いの必要性  
→提案者の思いや願い
- ・問題の焦点化  
→解決への見通し

各自が自分の考えをもって参加できるようにする。

教師は助言や励ましの言葉を書いて返す。

※学級活動ノート… 埼玉県小学校教育課程指導資料参照

#### 話し合いの進め方(例)

- ①出し合う
- ②くらべる(賛成・反対意見)
- ③まとめる(決める)

提案理由やきまっていることについて、共通理解を図る。

#### 「児童に任せることができない内容」

- ①個人情報やプライバシーに関わること  
(例)家族構成の公表 など
- ②相手を傷つけるような結果が予想されること  
(例)人権にかかわること など
- ③教育課程に関わること  
(例)時間割の変更 など
- ④校内のきまりや施設・設備の利用に関わること  
(例)飲食 体育館使用 など
- ⑤金銭徴収に関わること  
(例)プレゼント代の集金 など
- ⑥健康・安全に関わること  
(例)危険なゲーム など

## 〔本時の活動(学級会)〕

### 1 計画委員会の自己紹介

司会:「司会の〇〇です。みんなの意見をまとめられるようがんばります。」(以下、略)

### 2 議題・提案理由・決まっていることの確認

#### 【提案理由】

3年生の時、いろいろな係があったので学校が楽しかったです。4年1組にもいろいろな係があれば、クラスのみんなのために一人一人のよさを出せる場面も増えて、学校生活がもっと楽しく、充実すると思って提案しました。

#### 【決まっていること】※教師の指導の下、計画委員会で事前に確認。

一つの係は3人以上で、協力して仕事ができるようにする。

### 3 話し合い

#### 柱① どんな係があるとよいか考えよう

司会:「意見がある人は発表してください。」

C1:「私は、かざりつけ係がいいと思います。理由は、教室が明るく楽しくなるからです。」

C2:「僕は、新聞係がいいと思います。このクラスの出来事を記事にした新聞を作って掲示すれば、みんなが楽しんでくれると思います。」(以下、略)

司会:「出された意見について、賛成・反対意見をお願いします。」

C3:「私は、新聞係に賛成です。3年生の時も、新聞係があって、クラスの出来事が書かれていてとても楽しかったからです。」

C4:「僕も、新聞係に賛成です。4年生から始まったクラブ活動や各係活動の紹介を記事にすれば、3年生の時よりもいい新聞になると思ったからです。」



### 柱② 係の分担を決めよう

司会:「柱1で決まった7つの係について、これから分担をしていきます。」

教師:「みんなで決めた係です。『決まっていること』にあるように、どの係も3人以上で活動できるように、全員で分担しましょう。」

【本議題の柱2では、分担上の約束を確認した上で、各自の希望を黒板に表していく】

C5:「私は細かいものを作るのが大好きだし、図画工作も得意だから、かざりつけ係にぜひ入りたいな。」

C6:「ぼくは、3年生の時にレクリエーション係をしていてとても楽しくできたから、またレクリエーション係がいいな。」

C7:「レクリエーション係がおもしろそうだけど、希望している人が多いから、やったことがない学級文庫係に入ろうかな。」

C8~11:

「4人で新聞係になるんだね。よろしく。これからみんなが楽しく読める新聞を作っていこうね。」

教師:「それぞれの係で、学級生活が楽しく充実するように工夫して活動していきましょう。」

一人一人の思いを大切にするとともに、集団決定したことを全員で実践することの大切さについて助言する。



協力して活動することを原則とし、係間で競争をあおったり、係内で序列をつけたりすることのないように留意する。



## 〔事後の活動〕

### 1 係ごとの始めの話し合い(例:新聞係)

C8:「私たちの係は、どんなことをしていこうか。」

C9:「クラスの出来事や、いろいろな行事について新聞にしていけるのはどうかな。」

C10:「ぼくも賛成。音楽や理科は担任の先生じゃないから、先生へのインタビューを載せるのもいいと思うよ。」

C11:「そうだね。クラス替えがあったから、みんなのことも紹介したいよね。」

C9:「新聞の発行計画はどうしようか?」

C11:「毎週だといそがしいから、毎月第2・4水曜日に発行というのはどうかな。」(以下、略)

### 2 2週間程度取り組んだ後の振り返り(例:レクリエーション係)

C12:「ぼくたちのレクリエーションは、みんなが楽しめているのかな。」

C13:「スポーツ系のレクリエーションが多かったから、運動が苦手な人はあまり楽しくないかもしれないな。」

C14:「係のポストを作って、そこにリクエストを入れてもらうのはどう?」

C15:「なるほど。全員からアンケートを取れば、みんなの考えが分かりそうだよ。」(以下、略)

### 3 係の相互評価

教師:「他の係に感謝の気持ちやメッセージを伝えられるカードを用意しました。いつもがんばってくれている友達に、よいところやアドバイスを伝えていきましょう。」

C16:「かざりつけ係が、毎月、季節に合わせた飾りを作ってくれるから、この教室はとてもきれいで気分がいいな。今度、あの折り紙の折り方を教えて欲しいな。よし、リクエストしてみよう。」

### 4 活動の見直し(かざりつけ係)

C17:「かざりをつくって掲示する活動以外にも、私たちに何かできることはないかな。」

C18:「私たちに『折り紙教室を開いて欲しい』というリクエストが来てるよ。」

C19:「なるほど。さっそく明日の昼休みに開こうよ。」

C17:「いいね。今日の帰りの会で、みんなに知らせよう。」

朝の会や、帰りの会などで、定期的に話し合う時間を確保したり、係ごとに給食を食べる日を設けたりして、活動の振り返りをしたり、次の活動の見通しを立てたりする時間を設定する。

活動意欲を高め、互いの活動について認め合うために「係活動発表会」を行うことなども考えられる。

係からの発信や、係へのアドバイスなどの交流が自由にできるようにし、活動の充実を図るとともに人間関係を好ましいものにしていく。

